

足ることを 知る心こそ
宝船 世をやすやすと
渡るなりけり

脇坂 義堂

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと

未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

満足を知ることとは、

とても尊いことである。

そうすれば世の中も、

たやすく渡ることができると。

『五用心慎草 下之巻』

脇坂 義堂

江戸時代後期の心学者。

石田梅岩の弟子である手島堵庵てしまとあんに

学び全国を遊説するも、一時は堵庵

に破門される。その後、人足寄場な

どで講義を行うとともに、地方でも

積極的に遊説を行ったことから、破

門を解かれ、石田梅岩先生門人簿に

載せられた。

「万葉仮名」の誘ひ 知識の神道

『万葉集』が整えられた頃には、平仮名も片仮名もありませんでした。その為、言葉や文字を書き表すには漢字の意味に相当する言葉を使って読んだり(訓)、漢字の字義を無視して音のみを借りたり、様々な工夫をして書き表しました。これを『万葉仮名』と言います。『万葉仮名』がやがて仮名文字に発展しますが、極めて複雑な用字法のために、読み方が分らなくなつた時期もあります。現在も神事の中で神職が神様に奏上する祝詞も『万葉仮名』で書かれています。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp>



今月の祝日

憲法記念日(三日) 現在の憲法が、昭和二十二年に施行された日。
みどりの日(四日) 自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し豊かな心をはぐくみましょう。
こどもの日(五日) 子どもの健康と幸福を願い、母に感謝する日。